

SEIKO

目ざまし時計
取扱説明書
電波クロック

お買いあげありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよく
お読みの上、正しくご愛用くださ
いますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に
保存し、必要に応じてご覧ください。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきま
してご不明なことがございましたら、製品本体の裏
面または底面に表示してあります製品番号(型番)を
ご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センター
にお問い合わせください。

(例：AM0000、PW0000、KG0000など)

フリーダイヤル
お客様センター ☎ 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 FSQ-036J

製品の特長

- 標準電波を受信して現在時刻を表示する電波修正機能付き（日本国内対応）
- 東西電波（福島・九州）を自動選局
- 電波を受信できない場合でも、クォーツ時計としてお使いいただけます。
- アラームを一度止めても約5分後に再び鳴り出すスヌーズ機能付きです。
- 3段階にアラーム音が変化します。

電波クロックについて

● 電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

● 標準電波とは

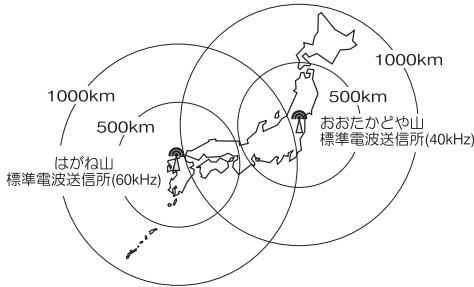
通信総合研究所が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

● 電波時計のしくみは

超高精度のセシウム原子時計を源とする時刻情報を持つ標準電波を受信し現在時刻およびカレンダーを表示します。

● 電波受信について

各々の送信所からの受信範囲の目安は、条件により異なりますがおおむね1000km～1200kmです。個別の状況により異なりますが、東日本地域は40kHz（福島送信所）、西日本地域は60kHz（九州送信所）の電波がより受信しやすいものと想定されます。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



〈ご注意〉

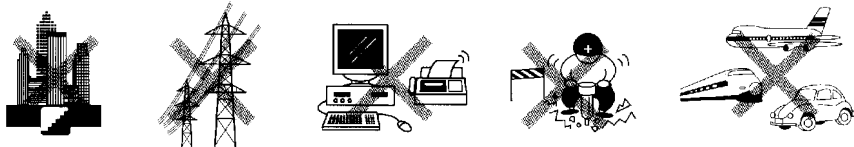
- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。
また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。
また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、通信総合研究所(CRL)のホームページをご覧になるか、お客様センターにお問い合わせください。
(ホームページアドレス <http://jjy.crl.go.jp>)

● 使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。また、電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。

その他、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- a) ビルの中、ビルの谷間、地下。
- b) 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- c) テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- d) 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- e) 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- f) スチール机等の金属製の家具の上や近く。



電池について

警告

＜アルカリ電池について＞

- (1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

注意

＜電池について＞

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
- (1) $\oplus \ominus$ を正しく入れてください。
- (2) 電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。
- (3) この電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしないでください。
- (5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
- (6) 時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。
- (7) 時計に添付の電池は工場出荷時よりつけられていますので、電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

使用場所・お手入れ方法

■使用場所

つぎのような所では、使わないでください。

- 温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所
- 温度が＋50℃（50度）以上になる所や直射日光が当たる所
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、そのほか火気に近い所
- 浴室など湿気の多い所
- 強い磁気や振動がある所
- 電波ノイズを発生させるものの近く

■お手入れ方法

日常の手入れの仕方

- わくをふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾^{かわ}ぶきしてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
- 殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

液晶パネルについて

- 液晶パネルが破損した場合、ガラス及び中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
 - 皮膚に付着した場合
付着物をふき取り、水で流し、石けんで良く洗浄してください。
 - 目に入った場合
きれいな水で良く洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
 - 飲み込んだ場合
きれいな水で良く口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。
しばらく放置しますと元に戻ります。

保証・アフターサービス

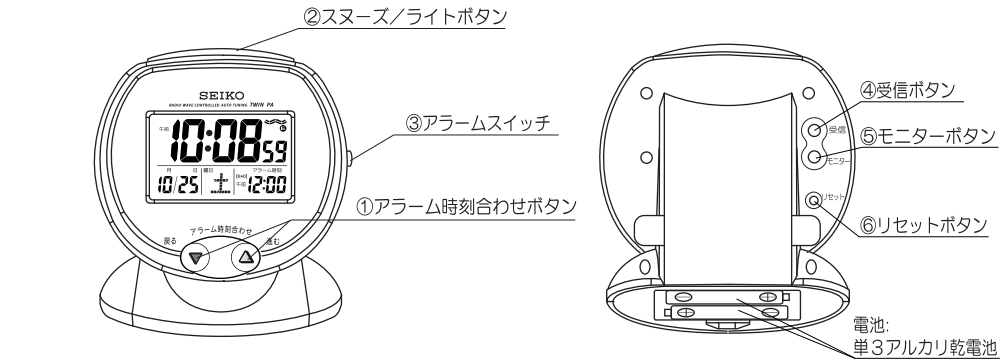
- この時計はメーカー保証です。
保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理部品は3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。
修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただきます。
修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

製品仕様

- 精 度：平均月差±30秒（気温5℃から35℃で使用した場合）
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
- 表 示 精 度：±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
- 使用温度範囲：－10℃～＋50℃ ただし、表示判読可能温度範囲 0℃～＋40℃
- ア ラ ム：電子音、1分間オートストップ、約4分～約5分間スヌーズ
（※スヌーズは何回でも繰り返すことができます。）
- カ レ ン ダー：2000年1月1日～2069年12月31日のフルオートカレンダー
月末、うるう年とも修正不要。
- 表 示：日付（月／日、曜日）、午前／午後表示による12時間制（現在時刻・アラーム時刻）表示
- 使 用 電 池：単3アルカリ乾電池2個（JIS規格LR6）
- 電 池 寿 命：約1年（アラームを1日30秒間使用した場合）
- 電波受信機能：自動受信 24回／日
次の受信までクォーツの精度で動いています。
手動受信（強制受信）

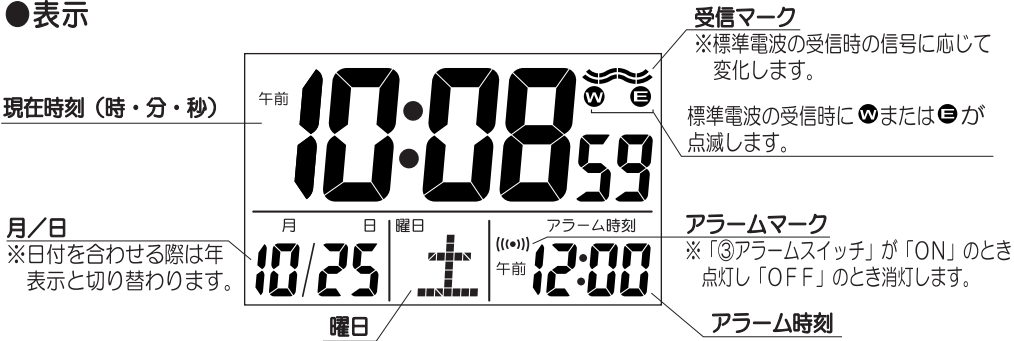
※ 上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

■各部の名称



- ① アラーム時刻合わせボタン
・アラーム時刻、または現在時刻や日付を合わせるときに使用します。
- ② スヌーズ/ライトボタン
・押すとLEDバックライトが点灯します。
・アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が効き、アラームが鳴り止まります。
- ③ アラームスイッチ
・アラームON/OFFの切り替えができます。
- ④ 受信ボタン
・通常表示（日付・時刻が点灯状態）のときに押すと、標準電波の受信を開始します。
・また、現在時刻や日付を合わせるときに使用します。（約2秒以上押し続けてください。）
- ⑤ モニターボタン
・アラームの試し鳴らしができます。
- ⑥ リセットボタン
・乾電池を入れ替えた時は必ず押してください。

●表示



■ご使用方法

ご使用前に表示部の透明シールをゆっくりはがしてください。

1. 電池を入れる

- 単3アルカリ乾電池 2個
- (1)本体底面の電池ぶたを外し、 $\oplus$ $\ominus$ の向きに注意して、電池を正しく入れてください。
- (2)「⑥リセットボタン」を先の細いペンなどで押してください。
約2秒間の全点灯表示ののち、時刻表示が(午前 1 2:00)となり、標準電波の受信を開始します。
※アラーム時刻は午前 1 2時に合わせてあります。
- (3)時計を使用したい場所に置いてください。窓際などできるだけ受信しやすい場所に置いてください。
受信中は、E マーク（または W マーク）が点滅し、受信マーク（ $\approx$ ）が信号に応じて変化します。
受信に要する時間は約2分～約20分です。
※この時計は、毎正時に標準電波の受信を自動的に開始します。

【受信成功】

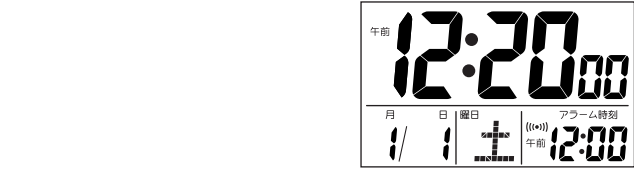
受信マーク（ $\approx$ ）が点灯し、[月/日][曜日][時:分][秒]が正しい日付と時刻を表示します。



福島送信所の標準電波を受信した場合は E マークが点灯し、九州送信所の標準電波を受信した場合は W マークが点灯します。
※受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。
※受信マーク（ $\approx$ ）表示は過去24時間以内に受信が成功している場合に点灯しつづけます。

【受信できない】

受信マーク（ $\approx$ ）が消灯します。



※使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。
本体の向きや置き場所を変えて、「④受信ボタン」を押して、もう一度受信を開始させてください。
また、1日の内で夜間のほうが昼間に比べて比較的受信状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一昼夜置くことにより受信できる場合があります。
※場合により、[時:分][秒]のみ、正しく時刻を表示することがあります。その後受信に成功すれば、[月/日][曜日]も正しく表示されます。

2. 時刻の合わせ方

●電波を受信して自動的に時刻、日付を合わせる

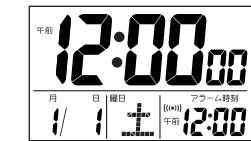
- (1)「④受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
※受信状態については 1.電池を入れる (3)をご参照ください。
- (2)うまく受信できない場合は本体の向きや置き場所をかえて、もう一度受信を開始させてください。
ご使用中に受信マーク（ $\approx$ ）が消灯する場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。

詳しくは「●使用場所について」を参照してください。

●手動で時刻、日付を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせることができます。

- (1)「④受信ボタン」を約2秒以上押し続けると、“ピッ”と確認音が鳴ります。
- (2)「④受信ボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
- (3)「①アラーム時刻合わせボタン」で日付や時刻を合わせてください。
※「①アラーム時刻合わせボタン」を押し続けている間は早送りします。
※約5分以上「①アラーム時刻合わせボタン」が押されなかった場合は、自動的に[通常表示]に戻ります。
その場合、日付は「④受信ボタン」を押した直前の年および月日を表示し、時刻は時刻合わせをおこなう前の時間に戻ります。



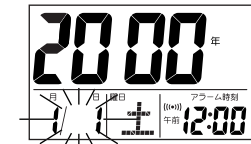
【通常表示】

普段はこの表示でお使いください。



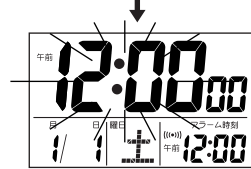
【年合わせ表示】

西暦の年が点滅します。
「①アラーム時刻合わせボタン」で西暦の年を合わせてください。
年は2000年～2069年まで合わせられます。
※曜日は自動的に合わせます。



【月/日 合わせ表示】

月/日が点滅します。
「①アラーム時刻合わせボタン」で月/日を合わせてください。
※曜日は自動的に合わせます。



【時刻 合わせ表示】

時刻が点滅します。
「①アラーム時刻合わせボタン」で時刻を合わせてください。
「①アラーム時刻合わせボタン」を押した瞬間に、秒表示は(00)のまま点灯し続けます。
※秒表示は、「④受信ボタン」を押して[通常表示]に切り替えると(00)から動き始めます。

- (4)時刻合わせが終了しましたら、「④受信ボタン」を押して[通常表示]に切り替えてください。

3. 電波受信を止める

この時計は下記手順により、電波受信を止める機能があります

- (誤受信の防止や設定をすらしお使いになりたい場合等にご使用ください。)
- (1)「④受信ボタン」と「①アラーム時刻合わせ（進む）ボタン」を同時に押しながら、「⑥リセットボタン」を一度押してください。
- (2)表示が[通常表示（午前 1 2:00）]に切り替わったら、「④受信ボタン」と「①アラーム時刻合わせ（進む）ボタン」を放してください。
- (3)「2. 時刻の合わせ方」にしたがって時刻を合わせてください。
※この機能を設定した後も「④受信ボタン」を押すと強制受信を開始しますが、その後自動受信はしません。
※この機能を解除するには、「⑥リセットボタン」を押してください。

4. アラームを鳴らす

●アラーム時刻を合わせる

- (1)[通常表示]状態で、「①アラーム時刻合わせボタン」を1度押してください。
確認音が“ピッ”と鳴り アラーム時刻合わせ状態に入り、アラーム時刻が点滅します。
※約4秒以上「①アラーム時刻合わせボタン」が押されなかった場合は、自動的に[通常表示]に戻り、アラーム時刻が点灯します。
- (2)次に、「①アラーム時刻合わせボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。
※「①アラーム時刻合わせボタン」を押し続けている間は早送りします。
※約4秒以上「①アラーム時刻合わせボタン」が押されなかった場合は、自動的に[通常表示]に戻り、アラーム時刻が点灯します。
- (3)アラーム時刻合わせが終了したら、「①アラーム時刻合わせボタン」を押さずにそのままにしてください。
約4秒後、アラーム時刻がセットされ、自動的に[通常表示]に戻り、アラーム時刻が点灯します。

●設定した時刻にアラームを鳴らす

- 「③アラームスイッチ」を上げて「ON」にしてください。
確認音が“ピッ”と鳴り、表示部にアラームマーク（ $\approx$ ）が点灯します。
※アラームの鳴り出しから約4秒間はLEDバックライトが点灯します。
※アラーム音は3段階に変化します。

●アラームを止める

- アラームの止め方には2通りの方法があります。
- (1)「③アラームスイッチ」を下げて「OFF」にしてください。
アラームが鳴り止まり、アラームマーク（ $\approx$ ）が消灯します。
- (2)「②スヌーズ/ライトボタン」を押してアラームを止めてください。
アラームが鳴り止まり、約4分～約5分後に再びアラームが鳴り出します。（スヌーズ機能）
※「②スヌーズ/ライトボタン」を押してから約4秒間はLEDバックライトが点灯します。
※スヌーズ中はアラームマーク（ $\approx$ ）が点滅しています。
※この操作は何回でも繰り返すことができます。
※スヌーズ中に「③アラームスイッチ」を下げて「OFF」に合わせるとスヌーズが解除され、アラームマーク（ $\approx$ ）が消灯します。

またアラームは1分間で自動的に止まります。（オートストップ機能）
この場合はアラームマーク（ $\approx$ ）は点灯し続けたままとなり、翌日の同時刻に再びアラームが鳴ります。

●アラームの試し鳴らしをする

- アラーム時刻にかかわらず、アラームの試し鳴らしができます。
「⑤モニターボタン」を押してください。押している間（最大1分間）鳴り続けます
※試し鳴らし中に「②スヌーズ/ライトボタン」を押しても鳴り止まりません。（スヌーズ機能は効きません）

5. バックライトを点灯させる

- 「②スヌーズ/ライトボタン」を押してください。
約4秒間LEDバックライトが点灯し表示部を照らします。
※暗いところなどで時刻を見る場合にご使用ください。

■ご注意

この製品には、マイコンが内蔵されています。静電気等により誤作動することがありますが、故障ではありません。
その場合は、「⑥リセットボタン」を押してください。
電池を入れ直した場合、または「⑥リセットボタン」を押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。